

# 湖と緑の街を散策

## 第9回ふれあいウォーク

ふれあいウォークが5月21日、東金市の雄蛇ヶ池から八鶴湖周辺を回る約10キロのコースで行われ、子どもからお年寄りまで90名の参加者が、湖と緑の街の散策を楽しみました。

この催しは、気楽に楽しく運動しながら体力づくりの普及を図ろうと、町教育委員会と横芝町明るい県民づくり推進員連絡協議会（大藤和一会長）の共催で年2回開かれていたもので、今回で9回目。

あやぶまれた天候も時おり陽が差すまでに回復し、JR東金線福俵駅で下車した一行は、最

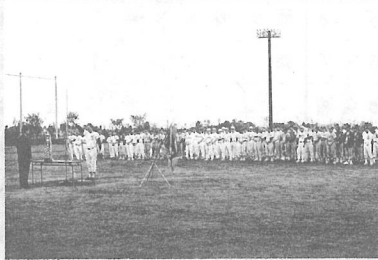


### 春季野球大会開幕

#### 22チームが出場

4月にオープンしたふれあい坂田池公園野球場を会場として、第19回町内春季野球大会が開幕しました。

大会には、前回の覇者で春夏6連覇に挑むラッキーボーイズや、優勝経験豊富なニュースターズ、古豪屋形サニーズなど22チームが出場。準決勝、決勝戦は6月18日の予定で、それまで毎週日曜日に6試合ずつ、合計21試合が行われます。今大会は、ナイター戦も組まれていますので、みなさんの応援をお願いします。



初の目的地である雄蛇ヶ池へと向かいました。この池は、今から約四百年ほど前に干害から村を守るために造られた用水池で、景観の素晴らしさから房総の十和田湖と呼ばれ、この日もハイキングや釣りを楽しむ家族連れなどが次々に訪れていました。

このあと宅地開発が進むレイクサイド内の昼食場所丸山公園までは、起伏に富んだ4キロの道程で、今回のコースの中で一番の難所でしたが、全員が無事に到着。

リュック姿の参加者は、芝生の広々とした公園内で昼食を取



り、出発まで隣接したバラ園を見学したり、アスレチックを楽しんだりと思いいいに過ごしていました。午後は、参道に樹齢二百年から四百年の老杉が並び、日吉神社、桜の名所八鶴湖と回り全コースを全員が完歩、JR東金駅から帰路につきました。

### 文芸

#### 俳句

山藤の煽られ易き高さかな

勝又 和徳

ゆらゆらと菖蒲の寄りて湯の沸ける

藤代 ゆう

藤づるを引く力なき吾となり

玉虫たけし

先になり後になりして蝶と行く

山口 一秋

植終へて広田いっばい鳴く蛙

鈴木 草庵

藤咲いていよいよ農事の忙しなく

鈴木 南知

鯉職揚ぐる家系の絆かな

戸村 静華

苗箱を洗う水路に縄だわし

若梅あやめ

藤の花大樹の衣なりしとも

斎藤 正吾

廃家なる春の月のみおくばかり

今関 茂生

初蝶は小さき川を越えて舞ひ

選者 土屋 栗水

#### 短歌

征きしまま還りきまさぬ夫の写真

見上げるし曾孫がババかと聞けり

秋葉 とく

久々の娘との語らひ尽きねどもは

やビル街を茜染めきぬ

掛川 友代

指の間より零れはせぬか松葉ぼた

んの細かき種を鉢に蒔きゆく

池田 春江

抜歯される其の間際までひそやかに歯の感触を舌で確む

鈴木 やす

春の雨けふるがに降る空めざし小鳥鳴きつつ飛びあがりゆく

中越美代子

寺庭の忠魂碑にいましき散れる桜吹雪は供花なすさまに

佐瀬 初音

長病める妻を案じし叔父なるか一周忌こぬに叔母も逝きたり

宇井 ちい

雀の子鳴き交はず声庭にして朝の目覚めの早き此の頃

斎藤 正吾

寡黙なる妻との暮らし五十年今にして思ふその性慕しと

斎藤 要

忙しなく若き等厨に働ける音をききつつ病み臥しゐたり

向後 房

譲りたる経営なれどもトラクターの音響かへば心急がる

斎藤 秀男

何にしますかと問へばメニューを伺ふと老いの遊びか夕餉めぐりて

選者 斎藤つね子

